



蒲崎海岸無堤区域整備の完了



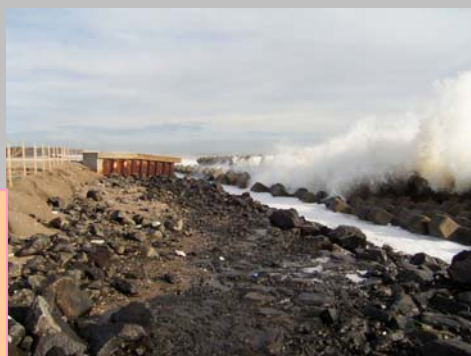
平成22年3月25日に岩沼海岸蒲崎地区堤防工事と岩沼海岸堤防工事が完成しました。

これにより、17年度から始まった一連の堤防工事(全長1287m)が完了し、無堤区域が解消されることとなります。

消波堤と堤防の整備により、高波や津波などの災害から背後地を守り、被害を最小限に食い止める働きが期待されます。

平成17年1月には、海岸線を守る市道や民家、田畑まで浸水し、大きな被害がありました。

平成17年1月の低気圧通過後の写真



平成22年4月 蒲崎海岸



施工完了後の海岸部分(堤防法尻)の写真です。

堤防を作るために、工事用の道路として海を埋めためて作業しました。海岸線の位置が上記左の写真と比べても変わっています。



ゴールデンウィーク前 安全利用点検結果報告



カメ宮さん

東北地方整備局の宮城県内事務所では、河川等がレクリエーション活動の場として、多くの人々に利用されていることを踏まえ、家族連れや子供達が安全で楽しく過ごせるよう、連休前に河川・ダム・海岸で危険な箇所がないか点検を行いました。

蒲崎海岸、山元海岸とも、海側の工事用道路で砂の吸い出しによる小さい陥没が見られました。

転落危険!

～山元海岸～

山元海岸には、8基のヘッドランドがあります。ヘッドランド周辺には、沖へ流れる強い海流があるため、転落した場合大変危険です。また、消波ブロックからの転落事故も起きています。**ヘッドランドや消波ブロックへは、絶対に立ち入らないでください。**



笠野海岸の堤防海側の工事用道路に砂の吸い出しによる陥没が見られます。車両で堤防を乗り越えて工事用道路を走行した跡も見られます。**大変危険ですので、立入禁止になっている箇所には、決して入らないようお願いいたします。**

～蒲崎海岸～

陥没注意!



堤防の海側の工事用道路は、海を石で埋めて作った物なので、波をかぶる等して、徐々に小石や砂が吸い出され、所々陥没がみられます。

発見した穴は石で埋めていますが、**危険ですので、絶対に堤防から海の方へ下りないようお願いいたします。**

～津波と地震時の体制について～

平成22年2月27日に南米西部で起こったマグニチュード8.6の地震の影響で、宮城県で2月28日9時33分に大津波警報が発令され、仙台河川国道事務所と仙台海岸出張所では非常体制に入りました。

また、3月13・14日の福島県沖地震時にも注意体制に入りました。

災害時における各体制の基準は以下の通りです。

体制基準	地震災害時	風水害時
注意体制	・震度4の地震が発生した場合 ・津波注意報が発令された場合	・高波浪・高潮の発生する恐れのある場合
警戒体制	・震度5弱又は5強の地震が発生した場合 ・津波警報(ツナミ)が発令された場合	・高波浪・高潮による被害の発生又は発生の恐れのある場合
非常体制	・震度6弱以上の地震が発生した場合 ・津波警報(オウツナミ)が発令された場合	・高波浪・高潮により施設に重大な被害が発生又は発生の恐れがある場合

平成22年3月1日10時15分に津波注意報が解除されたことにより、海岸所管施設の巡視を行い、被害が確認されないことから、平成22年3月1日12時30分注意体制海岸が解除になりました。また、平成22年3月13・14日の福島県沖地震は、所管施設巡視の結果、被害が確認されないことから、14日19時30分に体制解除になりました。

*** 工事期間中は周辺地域の皆様にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。 ***